

大分市 文化財だより 2013年度号

特集：おおいたの歴史遺産

—市内に残る貴重な史跡や遺跡—



大分市は、古来より瀬戸内海を介し、九州の東玄関口として交通の要となる役割を担ってきた地域であり、旧石器時代から江戸時代に至る様々な史跡や遺跡などの文化遺産が今に伝えられています。奈良・平安時代では、大分郡と海部郡の両郡に郡衙(郡役所)が置かれるとともに、豊後国の中心であった大分郡には、国府や国分寺が設置されました。鎌倉時代以降、豊後国守護として大友氏が大分の地を治めるようになり、戦国時代には、大友氏第21代の宗麟が北部九州6国に支配を拡げるとともに中国や東南アジア、ポルトガルなどと国際貿易を積極的に進めました。江戸時代には、現在の大分市街地の基礎となった府内城と城下町が築かれ、以来、政治・文化・経済の中心地として現在に引き継がれています。



写真は、【滝尾百穴横穴古墳群】-場所/羽田 末頁の地図番号は⑩-
滝尾中学校グラウンドの丘陵崖壁に古墳時代(6~7世紀頃)に造られた80基ほどの横穴古墳が残っています。

大分市文化財だより

2013年度号

おおいたの歴史遺産

—市内に残る貴重な史跡や遺跡—

発行/平成25年10月15日

編集・発行/大分市教育委員会教育文化部文化財課
TEL(097)5371563(直通)

『大分市埋蔵文化財保存活用センター』がオープンします

発掘で出土した土器に触れることができる!

大分市埋蔵文化財保存活用センターは、埋蔵文化財の発掘調査や発掘された出土品の整理作業を行なう施設として平成25年4月1日に開設しました。同年11月1日からは、出土遺物の展示や施設内の見学もできるようになります。

大分市教育委員会では、市内にある埋蔵文化財の調査を実施し、遺跡の保護・保存を図り、ふるさと大分の先人の暮らしを物語る土器をはじめとする遺物の保存に努めています。当センターでは、こうしたかけがえのない埋蔵文化財の調査・保存・活用を図る取り組みをおこなっています。

調査・市内各所で発見された埋蔵文化財の発掘調査の実施
保存・発掘した出土品の整理、収蔵及び保管
活用・遺跡の見学会や速報展示、講座の実施



施設外観▲

施設のご案内

施設内には、整理作業室をはじめ、展示室・体験講座室・図書室・収納室・事務室などがあり、埋蔵文化財の専門スタッフが作業を行っています。

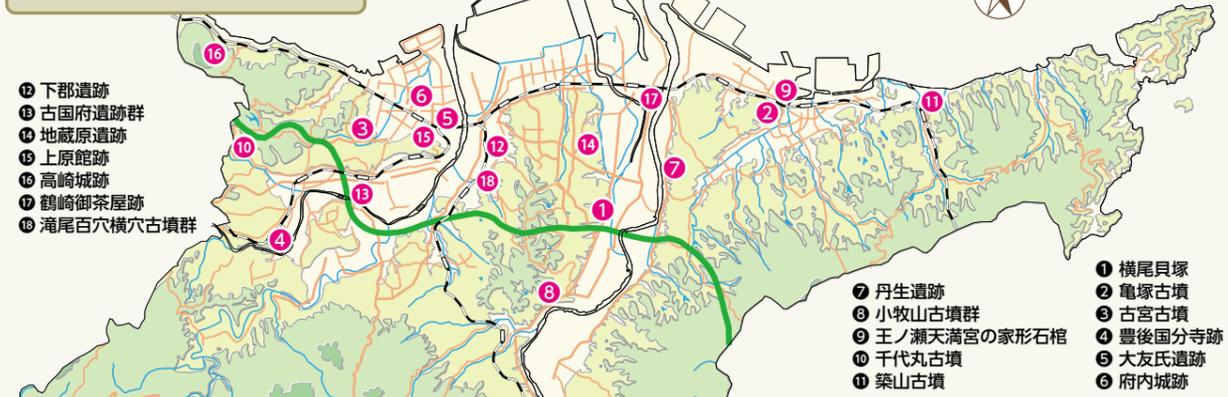


埋蔵文化財について知りたいことや調べたいことなどがありましたら、ぜひご利用ください。

- ◆開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)
- ◆休館日 第1月曜日の翌火曜日と第2~5月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日(土・日曜の場合は開館) 年末年始(12月28日~1月4日)
- ◆交通機関 大分自動車道「光吉IC」より13分 JR久大本線「豊後国分駅」より車で6分(1.9km) バス停「種田西中学校前」下車、徒歩1分
- ◆施設利用 大分市埋蔵文化財保存活用センター 問合せ先 大分市大字田原337番地5 TEL097-541-3500



今回の特集でご紹介した遺跡の位置です。



おおいたの歴史遺産

— 市内に残る貴重な史跡や遺跡 —

これまで大分市では、市内各所で様々な遺跡の発掘調査をおこなってきました。私たちの先祖がどのような生活をしてきたのか、私たちが住んでいる地域がどのようにつくられてきたのかを知る貴重な遺跡が発見されています。

こうした古(いにしえ)を辿ることのできるかけがえのない歴史遺産を後世に伝えるために大分市では、遺跡を大切に保存し、記録に残しています。

今回は、市内に点在する主な歴史遺産について紹介いたします。

旧石器時代

約1万5千年前

7 丹生遺跡

旧石器

市指定史跡 場所/丹生

大野川河口近くの台地上にある旧石器時代の遺跡です。さまざまな石器が見つっています。

縄文時代

約2500年前

1 横尾貝塚

縄文



国指定史跡 場所/横尾

乙津川の左岸に位置し、約8000年前(縄文早期)より縄文集落が営まれ、約数千年の長きにわたって形成された貝塚が見られます。現地には、貝塚神社が祀られ、古くから地域住民の信仰の対象となっています。

弥生時代

約1800年前

8 小牧山古墳群

古墳 4世紀

県指定史跡 場所/松岡

大野川左岸の標高100~110mの丘陵尾根上に築かれた方墳・円墳・前方後円墳からなる6基の古墳群です。

古墳時代

約1300年前

11 築山古墳

古墳 5世紀

国指定史跡 場所/本神崎

佐賀関半島の海岸部に面した丘陵に位置する前方後円墳です。古代海部を代表する古墳の一つで、全長90mにおよびます。主体部には、緑泥片岩を用いた組合式石棺が2基見つか、5世紀中頃と考えられています。

2 亀塚古墳

古墳 5世紀



国指定史跡 場所/里

中心市街地から東十数キロの標高約33mの台地上にある県最大級の前方後円墳です。全長116m、三段に築造された墳丘や造り出しなどに埴輪列があり、主体部には、緑泥片岩で組んだ巨大な箱形石棺や剥り貫き式石棺があります。

9 王ノ瀬天満宮の家形石棺

古墳 5世紀

県指定史跡 場所/王ノ瀬

長さ2.5mの凝灰岩を剥り貫いて造られた石棺です。5世紀頃のもので、亀塚古墳付近の古墳より発見されたものです。現在は、海部古墳資料館で展示しています。

10 千代丸古墳

古墳 7世紀

国指定史跡 場所/宮苑

大分川支流の賀来川沿いの河岸段丘上にある巨石を使用した横穴式石室で、7世紀初めの大分平野の在り首長の墳墓と推定されています。

3 古宮古墳

古墳 7世紀



国指定史跡 場所/三芳

庄ノ原丘陵の南斜面にある、一辺12m程の方墳です。中央には、巨大な凝灰岩を剥り貫いた九州唯一の石棺式石室があり、7世紀頃のもので、被葬者は、壬申の乱(672年)で活躍した大分君恵尺と考えられています。

奈良 平安時代

約800年前

鎌倉 室町時代

約500年前

16 高崎城跡

戦国

場所/神崎

ニホンザルの生息地で知られる高崎山の山頂から尾根にかけて築かれた大友氏の山城です。今も曲輪や土塁、竪堀などの跡を見ることができます。

15 上原館跡

戦国

場所/上野

上野台地の東端部にある大友氏の館跡です。現在も一部に土塁や空堀などが残り、戦国時代の館の姿を今に伝えています。

4 豊後国分寺跡

8世紀



国指定史跡 場所/国分

JR久大本線豊後国分駅に隣接した台地上に、天平13年(741)、聖武天皇の発願によって、建立された寺院です。現在は、大分市歴史資料館に併設して講堂跡や食堂跡・築地堀跡などが史跡公園として保存されています。

13 古国府遺跡群

古墳

場所/奥田

古国府・羽屋地区のこれまでの発掘調査により、古墳時代の大規模な集落跡が見つっています。南大分小学校内では、古墳時代の豪族居宅、もしくは祭祀場と思われる方形区画溝や大型掘立柱建物跡が発見されました。

14 地蔵原遺跡

8~9世紀

場所/小池原

乙津川左岸の標高約40mの鶴崎台地上に位置する弥生時代~平安時代の遺跡です。特に奈良時代から平安時代の初めには、80棟以上の建物跡と瓦葺きの建物跡が見つっています。

5 大友氏遺跡

戦国



国指定史跡 場所/顕徳町ほか

戦国時代の府内のまの跡とそこに築かれた戦国大名大友氏の館跡です。屋敷は、約200m四方の広大な面積があり、発掘調査によって庭園跡や礎石を使った大型建物跡などが発見されています。

6 府内城跡

17世紀~



県指定史跡 場所/大手町・荷揚町

慶長2年(1597)、福原直高により築城が始まり、慶長7年(1602)に四層の天守閣を含めて完成しました。堀・土塀・天守台や櫓などの一部が今も現存しています。

江戸時代

約400年前

17 鶴崎御茶屋跡

17世紀~

場所/鶴崎

鶴崎小学校から鶴崎高等学校の敷地一帯が、江戸時代に豊後の熊本藩領を統治するための役所があった所です。